

開館 25 周年記念展示

中央図書館開館 25 周年記念展実施委員会

1991 年 4 月の新中央図書館開館以来、四半世紀が過ぎた。図書館ではこの間、新たに館蔵古籍の画像公開事業を開始し、直に目にする機会の限られる古籍について、画像を通じて広く学内外の研究・教育に利用して頂くと共に、原資料の保存を図ってきた。

その一方で、指定文化財原本が観たいとの声も少なからず寄せられていたが、様々な制約から長らく展観に付すことが出来なかった。

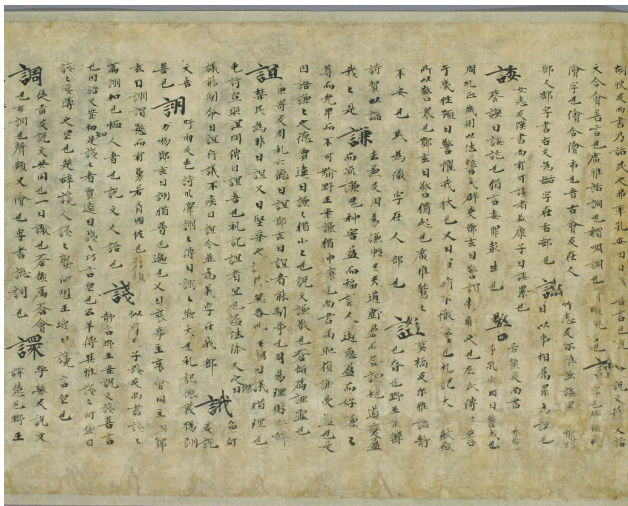
そこで、開館 25 周年記念事業として館蔵資料の展示を行うにあたり、国宝・重要文化財を含めた“名品”と、開館後新たに収蔵した資料の中から選りすぐりを出陳することとした。

幸い、同事業の一環として、展示室の改修も予定されており、装いも新たな図書館展示室で、図書館伝来の貴重な資料の数々をご堪能頂けるものと確信している。

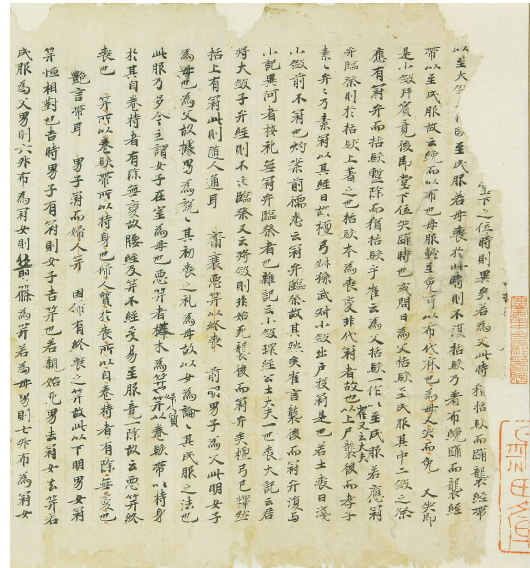
第 1 期 (2017 年 3 月 17 日～4 月 5 日)

卒業式・入学式に合わせ、国宝 2 点、重要文化財 5 件を一堂に集めて展示する。今回、20 数年ぶりに国宝原本展示の運びとなる。

『玉篇第九卷』 国宝



『礼記子本疏義卷第五十九卷端斯久』 国宝



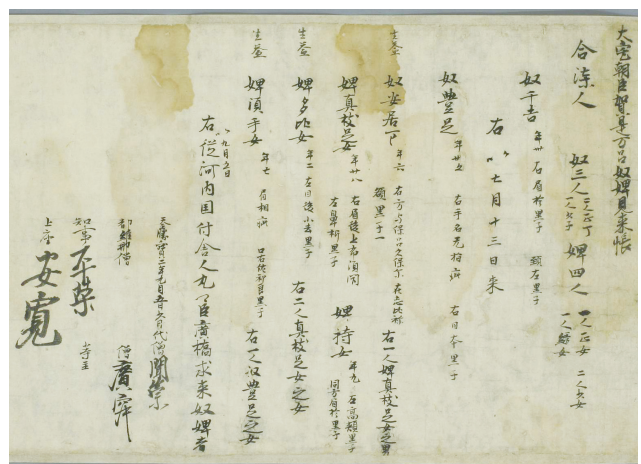
※表紙写真

【解説】梁・皇侃撰『礼記義疏』に弟子鄭灼が注釈を付したものの。巻尾に、光明皇后所用といわれる“内家私印”の朱方印が捺されており、奈良時代には既に伝来していたと察せられる。

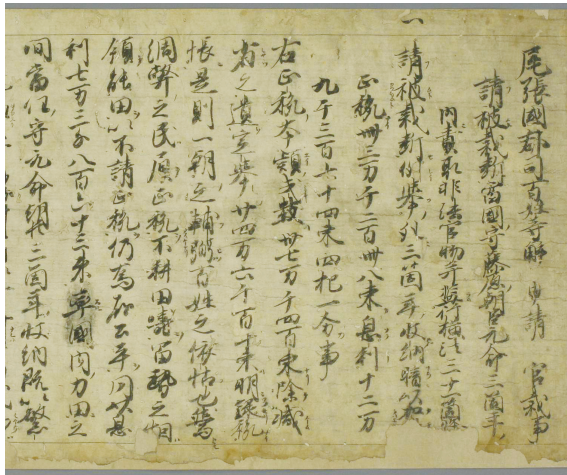
明治 38 年 10 月、田中光顕から寄贈され、昭和 6 年 10 月に旧国宝に指定され、昭和 27 年 10 月に再度新国宝の指定を受けた。

＜東大寺薬師院文書のうち＞

『大宅朝臣賀是万呂奴婢見来帳』 重文

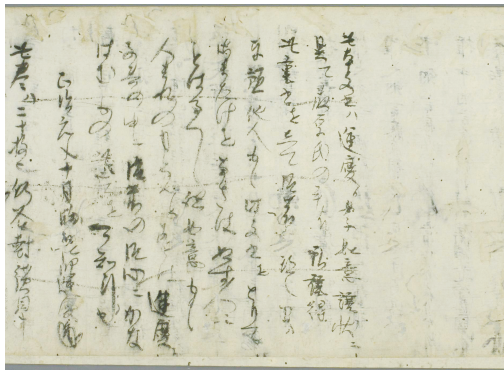


『尾張国郡司百姓等解文』 重文

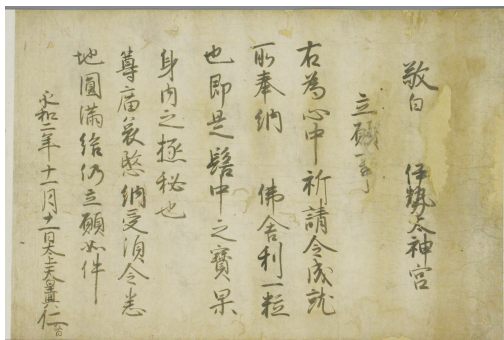


< 尊勝寺領近江国香庄文書のうち >

『法眼運慶置文』 重文

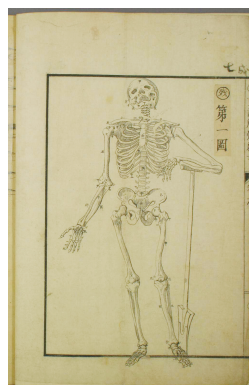
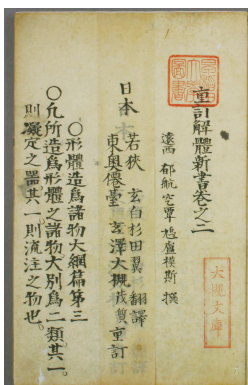


『崇光上皇宸筆願文』 重文



< 大槻玄沢関係資料のうち >

『重訂解体新書 一〇巻(内巻一欠)付 図編 銅版版下』 重文



第2期 (2017年4月10日～4月27日)

和書を中心に資料選定し、展示を行う。25周年記念事業として制作したVRコンテンツに使用されている『敦盛絵巻・[上], 下』『源氏物語絵巻: 四季源氏』も出陳するので、“リアル”な原本との両極をご覧いただけるものと思う。

『敦盛絵巻・[上], 下』



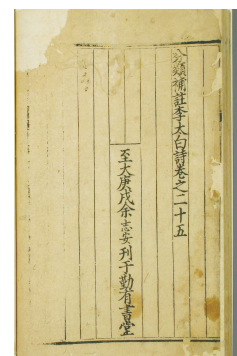
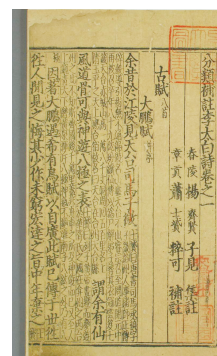
『源氏物語絵巻: 四季源氏』



第3期 (2017年5月10日～5月31日)

漢籍、準漢籍、洋書ほか、海外文化の香りを帯びた資料を選定して展示する。

『分類補註李太白詩 卷之 1-12, 21-25』



『Mirrouir of the blessed lyf of Jesu Christi』



(文責: 資料管理課長 小林邦久)